



三河商人道 PART 100

星野建設工業株式会社
代表取締役 星野 成孝 君

昭和37年創業、50年以上の歴史を持つ星野さんの事業所“星野建設工業”は小呂町にあります。主な事業内容は設計、建築、不動産で地域に密着したこだわりの木造建築屋さんです。

建築業界では、工場であらかじめ作られてくるプレカットが主流の現在でもなお、職人さん達が、地元で取れた木をメインに一本一本丁寧に墨を付け、刻みながら、手作りの建物を建てておられます。その工法だとプレカットより単価で4倍、工期で10倍もかかるそうですが、そのこだわりが心のこもった木のぬくもりのある建物になり、それがお客様にも伝わり、口コミで注文が入るそうです。そのため、営業職の方は必要なく、建築現場と職人さんそのものが営業になるそうです。また、機械の性能が上がってきた現在、その工法を誰かが傳承し、職人さん達を守っていかなければいけないと言う先代の師匠の思いも引き継がれています。

最近では福祉関係の物件も多く手掛けられ、特に障がい者の家や施設が多く“障がいの方に健常者が暮らす以上にその人にとって環境が良くて住みやすい建物”が好評で、専門誌にも取り上げられたそうです。この様にお客様目線で作る建物は会社の信念である“愛される仕事”と通じてきます。この業界では珍しく、職人さん全員が社員となっています。このように、安心して働ける場を提供することで、いい仕事につなげていく体制が整えられています。あまりにも愛がそそぎこまれて、子ども部屋が足りなくなるエピソードもあったそうです。

青年部には平成12年に入会され、副会長や監事など重要な役も経験されました。今年度、卒業されるにあたって後輩には「社会人になると自分の業種の枠だけに目が行ってしまいが、いろんな業種を知ることで視野をもっと広げて、出会いを大事にしてほしい。そのためには、まずは参加する事、そして楽しむ。それが一番大事。その中で仕事につながっていけばいい。」と話されていました。「人生、楽しまない！」単純な言葉なうえ、実行出来ているか自問してしまう言葉ですが、仕事でもプライベートでも人生を心から楽しんでおられるのが溢れ出ている星野さんが印象的でした。

取材：道本、浅井



さすが建設屋さん 木の看板が目印です。



優しさが溢れ出る面持ちの星野さん。



仕事・青年部についてとても熱心に話をしてくださいました。